

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	プロジェクトマネジメント論 (Project Management)		
ナンバリングコード	P30904	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル eビジネス論
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修: 情報コミュコース 選択: 情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P090451	クラス名	-
担当教員名	衛藤 俊寿		
履修上の注意、履修条件	・プロジェクトマネジメントを実践できるよう主体的に学修すること ・講義では携帯・私語は厳禁 ・演習では活発に討議や発表に参加すること		
教科書	プロジェクトマネジメントの基本が面白いほど身につく本 (KADOKAWA)		
参考文献及び指定図書	「プロジェクトマネジメント」実践講座 (日本実業出版社)		
関連科目	人間力概論, 経営組織論, 起業学, 情報リテラシー1, データサイエンス入門		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	授業及びプロジェクト管理疑似演習に主体的に取り組む意欲がある	10点	10点	10点
【知識・理解】	プロジェクトマネージャになるための基礎知識を修得している	10点	10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	プロジェクトマネジメントに必要なコミュニケーション能力を有する			20点
【思考・判断・創造】	講義及び演習を通してプロジェクトで発生する問題・課題等に対処できる能力を有する			20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
成績は、疑似演習の成果、グループワークの内容、出席等を総合的に評価します。 課題へのフィードバックは、次回以降の授業において行います。	

○基本情報	
授業の目的	プロジェクトの成否は、プロジェクトマネージャーに依存するところが大きい。プロジェクトマネージャーは、プロジェクトの計画から実行まで全てのプロセスに携わり、プロジェクトのQCD(予算・品質・納期)を徹底的に管理します。 本授業では、講義とプロマネ疑似演習におけるプロジェクトマネージャー疑似体験を通してプロジェクトマネジメントに関する基礎的な知識を修得します。
授業の概要	本授業では、プロジェクトの概要、プロジェクトマネジメントの方法、マネジメントプロセス(進捗管理、リスク管理、品質管理、コスト管理、コミュニケーション管理など)を学修します。 これらについて、説明を受講したうえで、仮想プロジェクトにおいてプロジェクト管理を疑似体験します。その後、グループに分かれ疑似プロジェクトマネジメントについてディスカッションを行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	衛藤俊寿 ・企業在籍時に複数のソフトウェア開発プロジェクトにプロジェクトマネージャーとして参画した。 ・情報処理技術者(プロジェクトマネージャ)

○その他	
なし	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	プロジェクトマネジメント論 (Project Management) 衛藤 俊寿	授業コード	P090451
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> ・授業の進め方や評価方法、大学の情報機器を使うためのガイダンスを行いません。				
予習	—	—	—	—
復習	—	—	—	約2時間
<b>2. プロジェクトの基本をおさえる</b> ・下記の内容を学修する プロジェクトの目標と活動、プロジェクトにおける制約、プロジェクトにおけるルーティンワーク、プロジェクトマネジメントの概要と手法、プロジェクトマネージャーの役割、ステークホルダー、管理のための「見える化」 ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>3. プロジェクトの目標を明確にする</b> ・下記の内容を学修する 6W2Hの明確化による目標設定、要求事項の確認、プロジェクト憲章の作成、ステークホルダーマネジメント ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>4. プロジェクトを計画する1</b> ・下記の内容を学修する スケジュールとWBS、ガントチャートによる進捗管理、マイルストーンの決定、スケジュール遅延の要因、役割分担表の作成 ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>5. プロジェクトを計画する2</b> ・下記の内容を学修する コスト計画、WBSやガントチャートによるコスト見積、コスト管理表の作成、リスクの洗い出しとリスク管理表の作成、リスク発生時のコンティンジェンシー計画 ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>6. プロマネ疑似演習1-1</b> ・疑似プロジェクトについてプロジェクト計画1の演習を行う ・演習用の疑似プロジェクトについて説明する(プロジェクト憲章の提示) ・プロマネ疑似演習の個人演習を行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間
<b>7. プロマネ疑似演習1-2</b> ・グループ単位でプロマネ疑似演習(プロジェクト計画1)に関する発表・ディスカッションを行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間
<b>8. プロマネ疑似演習2-1</b> ・疑似プロジェクトについてプロジェクト計画2の演習を行う ・演習用の疑似プロジェクトについて説明する ・プロマネ疑似演習の個人演習を行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	プロジェクトマネジメント論 (Project Management) 衛藤 俊寿	授業コード	P090451
<b>学修内容</b>				
<b>9. プロマネ疑似演習2-2</b> ・グループ単位でプロマネ疑似演習(プロジェクト計画2)に関する発表・ディスカッションを行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間
<b>10. プロジェクト計画を実行する</b> ・下記の内容を学修する キックオフの実施、進捗管理の方法、マニユアリング、是正措置の方法、進捗レポートの作成、プロジェクト終了書の作成 ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>11. 戦略的思考を身につける</b> ・下記の内容を学修する バックキャスト思考、エンジニアリングアプローチ、クリティカルパス、問題志向と解決志向、論理的バランス思考、目的と目標の違い ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>12. リーダシップを発揮する</b> ・下記の内容を学修する プロジェクトマネジメントを成功させる「人間力」、マネージャーとリーダーの違い、組織を活性化させる5大要素とサイクル、マネジメントスタイル(指示型と支援型)、プロジェクトの成功に必要な「モチベーション」 ・確認テストを実施し提出する				
予習	—	—	—	—
復習	課題の実施と提出	—	—	約2時間
<b>13. プロマネ疑似演習3-1</b> ・グループ単位でプロマネ疑似演習(プロジェクト計画の実行)に関する発表・ディスカッションを行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間
<b>14. プロマネ疑似演習3-2</b> ・グループ単位でプロマネ疑似演習(プロジェクト計画の実行)に関する発表・ディスカッションを行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間
<b>15. 演習まとめ</b> ・グループ単位でプロジェクトマネジメントに関するまとめの発表・ディスカッションを行う				
予習	—	—	—	—
復習	演習のまとめ	—	—	約2時間
<b>16. —</b> 試験なし				
予習	—	—	—	—
復習	—	—	—	—